

名誉町民
むかわ町長

故 山口 憲造 儀 町葬

むかわ町名誉町民

山口町長お別れの会

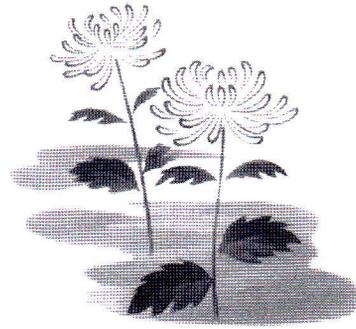


日 時 平成26年2月9日 午前10時00分

式 場 むかわ町 四季の館 たんぼぼホール

むかわ町名誉町民 山口町長お別れの会 式次第

- 1 開 式 の 辞
- 2 黙 禱
- 3 追 悼 の 辞
- 4 弔 辞
- 5 弔 電 奉 読
- 6 故人ありし日の声
- 7 お別れの言葉
- 8 葬儀委員長挨拶
- 9 献 花
- 10 閉 式 の 辞



葬 儀 役 員

顧 問	北 海 道 知 事 元 内 閣 総 理 大 臣 衆 議 院 議 員 参 議 院 議 員 北 海 道 議 会 議 員 北 海 道 議 会 議 員 北 海 道 町 村 会 長 乙 部 町 長 東 胆 振 広 域 圏 振 興 協 議 会 長 苦 小 牧 市 長 む かわ 町 姉 妹 都 市 富 山 県 砺 波 市 長 む かわ 町 特 別 名 誉 町 民 北 海 道 大 学 名 誉 教 授	高 嶋 堀 橋 神 田 寺 岩 夏 鈴	橋 山 井 本 戸 村 島 倉 野 木	は る み 由 紀 夫 聖 子 臣 典 龍 治 光 一 郎 博 文 修 章
相 談 役	鶴 川 農 業 協 同 組 合 代 表 理 事 組 合 長 と ま こ ま い 広 域 農 業 協 同 組 合 代 表 理 事 組 合 長 鶴 川 土 地 改 良 区 理 事 長 苦 小 牧 広 域 森 林 組 合 代 表 理 事 組 合 長 鶴 川 漁 業 協 同 組 合 代 表 理 事 組 合 長 む かわ 町 商 工 会 長 む かわ 町 社 会 福 祉 協 議 会 長 鉄 北 町 内 会 長	長 菊 明 小 時 山 松 両	門 地 村 坂 田 崎 田 川	宏 市 弘 一 政 一 敬 雄 弘
葬 儀 委 員 長	む かわ 町 議 会 議 長	三 倉	英 隆	規 久
葬 儀 副 委 員 長	む かわ 町 長 職 務 代 理 者 副 町 長	富 士	隆 子	
喪 主		山 口	隆 子	

略 歴

昭和23年5月6日 むかわ町米原で出生
昭和43年3月31日 北海道立苫小牧工業高等学校卒業
昭和44年4月1日 鵜川町役場奉職
平成5年7月1日 建設課長
平成11年3月30日 鵜川町役場退職
平成11年5月1日 } 鵜川町長 2期7年在職
平成18年3月26日 }
平成18年4月23日 } むかわ町長 2期8年在職
平成26年1月31日 }

団 体 役 職 歴

平成11年5月～ 胆振東部日高西部衛生組合組合長
平成20年8月～平成24年8月 胆振地区漁業調整委員会委員
平成23年4月～ 胆振町村会会長
平成23年4月～ むかわ町観光協会会長
平成23年4月～平成25年4月 北海道ウタリ地区振興対策事業推進協議会幹事
平成23年5月～平成25年4月 北海道町村会理事
平成23年6月～平成24年6月 財団法人 北海道町村会館理事
平成23年6月～ 社団法人 北方領土復帰期成同盟理事
平成23年7月～ 北海道国民健康保険団体連合会理事
平成24年4月～ 学校法人 むかわ文化学園理事長
平成25年2月～ 北海道農業農村振興対策協議会理事
平成25年3月～ 北海道道路整備促進協会副会長
平成25年3月～ 北海道高速道路建設促進期成会理事
平成25年3月～ 北海道河川環境整備促進協議会理事
平成25年3月～ 北海道道路利用者会議常任理事
平成25年3月～ 道路整備促進期成同盟会全国協議会理事
平成25年3月～ 北海道横断自動車道早期建設促進期成会理事
平成25年4月～ 北海道町村会副会長



(写真)

むかわ町特別名誉町民称号贈呈式にて
右：ノーベル化学賞受賞鈴木章氏
(平成23年1月6日挙行)



功 績

氏は、平成11年5月に鶴川町長に初当選され、平成18年4月には、新町むかわ町の初代町長として、以来4期15年間にわたり本町の抱える諸課題に対し、卓越した発想力と行政手腕を遺憾なく発揮され、個性豊かなまちづくりと町民生活の安定・向上に大きく寄与され、行財政基盤の確立と町政の振興発展に尽力されました。

平成18年の鶴川町と穂別町の合併により誕生した、新生「むかわ町」の発展に大きな夢を託され、住民と行政が一体となったまちづくりに邁進されました。

特に、少子高齢化が進行する中で青少年と妊婦を対象とした医療費の無料化、子育て支援住宅など子育て環境の充実、穂別診療所及び町立鶴川厚生病院改築による医療環境の整備、甲子園出場を果たした鶴川高等学校野球部を始めとする各種スポーツ振興、高齢者の映画制作集団「田んぼ de ミュージカル委員会」への支援など、子どもからお年寄りまでが、安心と誇りをもって暮らせるまちづくりに大きく尽力されました。

本町の基幹産業である農業、林業、水産業の振興にも力を注ぎ、複合経営の定着による地域農業の確立、むかわ型農業担い手育成対策の実践による農業振興策、間伐材で生産した木質ペレットの積極的な推進、「鶴川ししゃも」及び「穂別メロン」の地域団体商標によるブランド化、むかわ金券やプレミアム金券の地域通貨導入による地域経済対策にも貢献されました。

平成24年には、未来の指針となる「むかわ町まちづくり計画」の策定とまちづくりの基本理念・基本原則となる「むかわ町まちづくり基本条例」を制定し、「むかわ力」を基軸に据えた協働によるまちづくりの推進や未来を担う子ども達が誇りと夢をもって心豊かに育むふるさとづくりをめざし、類いまれな指導力を持って一貫して邁進され新町むかわ町の創生期の発展と町民生活の向上に多大な功績を残されました。

さらに、町立鶴川中央小学校の改築と学校給食の実施に目途をつけると共に、農業基盤づくりとして長年の懸案であった新鶴川地区国営かんがい排水事業は、新年度着手となるなど、将来に向け奔走努力をされていたところでもありました。

また、氏は、平成23年4月に胆振町村会会長、平成25年4月には北海道町村会副会長に就任され、優れた洞察力と豊かな識見をもって、道内市町村長の中核を担う一人として指導力を発揮され、国や道との一層の信頼関係に努め、地域が抱える課題と政策を提言し、道内市町村の自治振興及び産業振興、道民福祉の向上にも大きく貢献されました。

平成26年2月1日開会のむかわ町議会臨時会において、郷土の発展に至情を傾け新町創生・形成期の発展と町民生活の向上に尽力されたその功績を讃え、満場一致で氏に「むかわ町名誉町民」の称号が贈られました。